



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社 進学会ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9760 URL <https://shingakukai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平井 将浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 竹山 正輝 TEL 011-863-5557
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,515	△26.3	△1,020	—	△1,029	—	△1,050	—
2026年3月期第1四半期	2,055	62.1	△345	—	△356	—	△383	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △1,073百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △403百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△63.08	—
2026年3月期第1四半期	△21.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	21,683	6,268	28.9	376.27
2026年3月期	19,944	7,341	36.8	440.71

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 6,264百万円 2026年3月期 7,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	△32.3	△450	—	△430	—	△470	—	△27.52
通期	5,100	△23.9	50	—	70	—	30	—	1.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社(社名) 、除外 ―社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	20,031,000株	2026年3月期	20,031,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,382,526株	2026年3月期	3,382,526株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	16,648,474株	2026年3月期1Q	17,589,479株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、政府の各種施策などからゆるやかな景気の持ち直しが見られました。一方、米国の通商政策、中東情勢の混乱に伴う原材料・エネルギー価格の高騰、国内物価上昇の継続による個人消費への影響、また金融資本市場の変動等の影響に注視を要する状況にあり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境のもと、当社グループが今後の更なる成長を実現していくために、指導法や教材開発、募集活動等の強化を図るとともに、全国の直営会場体制に関しては採算性の重視とスピード感のあるスクラップ&ビルドにより、質と量の両面において教室網の強化を進めております。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの運営につきましては、教育関連部門における個別指導部門を強化し、AIオンライン塾Go・KaKuを組み合わせた商品の開発など、売上増加施策に取り組んでまいりました。しかしながら、昨年度末に不採算本部・会場を閉じた影響で売上において計画を下回る結果となりました。

不動産事業においては、前第1四半期連結累計期間に当社グループが所有している販売用不動産2棟の売却があった影響から、当第1四半期連結累計期間の売上・利益はともに減少しております。

資金運用事業においては、昨年度から継続していた中東情勢悪化の影響から、売上・利益において計画を下回る結果となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,515百万円（前年同四半期比26.3%減）、営業損失は1,020百万円（前年同四半期は345百万円の営業損失）、経常損失につきましては1,029百万円（前年同四半期は356百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,050百万円（前年同四半期は383百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 教育関連事業

コロナ禍で縮小させた会場数の回復を図るため、積極的な会場のスクラップ&ビルドを進めるとともに、採算性の向上に取り組んでおります。また、個別指導部門は生徒数・売上高ともに前年を上回っている一方で、集団授業の縮小により売上の前年同四半期比が下がりました。この結果、売上高は168百万円（前年同四半期比2.9%減）となり、セグメント損失は114百万円（前年同四半期は111百万円のセグメント損失）となりました。

ロ. スポーツ事業

道内3ヶ所に施設を構えるスポーツクラブZipは、昨年と比べ新規生の募集・入会ともに回復の兆しが見えてきましたが、募集が目標までの水準に届かず、売上高は72百万円（前年同四半期比5.8%減）となり、セグメント損失は11百万円（前年同四半期は16百万円のセグメント損失）となりました。

ハ. 不動産事業

不動産の売買や賃貸、学習塾部門の教室の管理・清掃に関わる不動産事業は、前第1四半期連結累計期間に当社グループが所有している販売用不動産の売却があった影響があり、売上高は126百万円（前年同四半期比78.1%減）となり、セグメント利益は77百万円（前年同四半期比37.9%減）となりました。

ニ. 資金運用事業

資金運用会社である株式会社SG総研の売上高は1,041百万円（前年同四半期比9.4%減）となり、セグメント損失は897百万円（前年同四半期は252百万円のセグメント損失）となりました。

ホ. その他事業

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入れ販売などを含んでいます。売上高は106百万円（前年同四半期比32.3%増）となり、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,717百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,231百万円増加しました。これは、当第1四半期連結会計期間末で有価証券の残高がなくなり、有価証券が2,008百万円減少しましたが、有価証券の売却に伴う決済のためなどの未収入金が3,511百万円、現金及び預金が737百万円増加したことなどによるものです。固定資産は5,966百万円となり、前連結会計年度末に比べて491百万円減少しました。これは、投資有価証券が462百万円減少したことなどによるものです。この結果、総資産は21,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,739百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は15,117百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,818百万円増加しました。これは、有価証券の購入に伴う決済のための未払金が2,793百万円増加したことなどによるものです。固定負債は298百万円となり、前連結会計年度末に比べて5百万円減少しました。この結果、負債合計は15,415百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,813百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,268百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,073百万円減少しました。これは、利益剰余金が1,050百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は28.9%（前連結会計年度末は36.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日付「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後のさまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,434,929	4,172,464
営業未収入金	62,056	56,874
有価証券	2,008,169	—
商品及び製品	8,877	8,644
仕掛品	4,752	2,376
原材料及び貯蔵品	11,272	8,739
販売用不動産	3,383,188	3,383,188
未収入金	4,416,389	7,928,348
その他	159,949	162,266
貸倒引当金	△3,836	△5,522
流動資産合計	13,485,748	15,717,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,651,232	7,654,145
減価償却累計額	△4,661,268	△4,688,713
建物及び構築物（純額）	2,989,964	2,965,431
機械装置及び運搬具	509,671	507,207
減価償却累計額	△497,154	△495,508
機械装置及び運搬具（純額）	12,516	11,698
土地	2,315,446	2,315,446
その他	784,162	782,433
減価償却累計額	△772,497	△768,925
その他（純額）	11,664	13,508
有形固定資産合計	5,329,592	5,306,085
無形固定資産		
その他	7,992	6,961
無形固定資産合計	7,992	6,961
投資その他の資産		
投資有価証券	529,681	67,634
繰延税金資産	6,796	—
敷金及び保証金	98,259	97,498
退職給付に係る資産	398,196	400,000
その他	87,820	88,183
投資その他の資産合計	1,120,753	653,316
固定資産合計	6,458,338	5,966,363
資産合計	19,944,087	21,683,744

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,924	71,600
短期借入金	7,926,025	8,032,365
未払金	3,983,209	6,776,719
未払法人税等	121,351	52,137
未払費用	50,450	43,680
前受金	101,910	130,761
その他	55,959	10,030
流動負債合計	12,298,832	15,117,296
固定負債		
繰延税金負債	119,786	111,288
役員退職慰労引当金	81,798	84,478
資産除去債務	55,431	55,856
預り敷金保証金	46,325	46,443
固定負債合計	303,342	298,066
負債合計	12,602,174	15,415,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	1,141,062	90,908
自己株式	△1,210,877	△1,210,877
株主資本合計	7,258,284	6,208,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,639	2,023
退職給付に係る調整累計額	57,299	54,084
その他の包括利益累計額合計	78,939	56,107
非支配株主持分	4,689	4,143
純資産合計	7,341,912	6,268,381
負債純資産合計	19,944,087	21,683,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,055,893	1,515,173
売上原価	2,246,686	2,400,299
売上総損失(△)	△190,793	△885,126
販売費及び一般管理費	154,679	135,221
営業損失(△)	△345,472	△1,020,347
営業外収益		
受取利息	15	21
受取配当金	7,093	8,453
その他	3,361	2,324
営業外収益合計	10,469	10,798
営業外費用		
支払利息	11,703	16,769
解決金	9,000	—
その他	416	3,615
営業外費用合計	21,119	20,384
経常損失(△)	△356,122	△1,029,933
特別利益		
固定資産売却益	—	140
投資有価証券売却益	—	29,331
特別利益合計	—	29,471
特別損失		
固定資産除却損	346	58
特別損失合計	346	58
税金等調整前四半期純損失(△)	△356,469	△1,000,520
法人税等	25,407	50,178
四半期純損失(△)	△381,876	△1,050,699
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,345	△545
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△383,221	△1,050,153

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△381,876	△1,050,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,272	△19,616
退職給付に係る調整額	△5,723	△3,215
その他の包括利益合計	△21,995	△22,831
四半期包括利益	△403,872	△1,073,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△405,217	△1,072,985
非支配株主に係る四半期包括利益	1,345	△545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	教育関連 事業	スポーツ 事業	不動産 事業	資金運用 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	173,441	77,096	439,231	—	689,769	80,420	770,190	—	770,190
その他の収益	—	—	136,728	1,148,974	1,285,702	—	1,285,702	—	1,285,702
外部顧客への 売上高	173,441	77,096	575,959	1,148,974	1,975,472	80,420	2,055,893	—	2,055,893
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	2,490	45,972	—	48,462	44,699	93,161	△93,161	—
計	173,441	79,586	621,931	1,148,974	2,023,934	125,120	2,149,055	△93,161	2,055,893
セグメント利益 又は損失(△)	△111,206	△16,195	125,167	△252,076	△254,311	23,391	△230,919	△114,552	△345,472

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に各グループ会社への経営指導料、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用、及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	教育関連 事業	スポーツ 事業	不動産 事業	資金運用 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	168,489	72,617	2,114	—	243,221	106,429	349,651	—	349,651
その他の収益	—	—	124,224	1,041,297	1,165,522	—	1,165,522	—	1,165,522
外部顧客への 売上高	168,489	72,617	126,339	1,041,297	1,408,743	106,429	1,515,173	—	1,515,173
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	2,604	48,152	—	50,756	42,013	92,769	△92,769	—
計	168,489	75,221	174,492	1,041,297	1,459,500	148,442	1,607,943	△92,769	1,515,173
セグメント利益 又は損失(△)	△114,985	△11,037	77,689	△897,210	△945,544	23,835	△921,709	△98,637	△1,020,347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に各グループ会社への経営指導料、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用、及びセグメント間の取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	42,541千円	32,624千円